

第3回エリアミーティング (東寺方小学区)

「地域カルテ・ビジョンづくり」



令和3年4月30日(金)～
5月10日(月)
オンライン開催

第3回エリアミーティング(オンライン)について

当初、第3回エリアミーティングは、東寺方小学校体育館で、「地域カルテ・ビジョンづくり」に取り組む予定でしたが、緊急事態宣言発令に伴い会場でのワークショップは延期とし、皆さまに個人ワークを行っていただき当フォームへの入力をもって意見収集を行います。【入力期間：4月30日(金)～～5月10日(月)】

- 集まった意見は、市と中央大学にてとりまとめの上みなさまにお示しいたします。
- メールに同封した「第3回説明資料」及び以下の説明をご確認いただき、ワークをお願いいたします。
- 今回使用するワークシートは、令和3年3月に「わがまち学習講座」にて使用したものです。
<https://www.city.tama.lg.jp/0000012456.html>(市公式HP(わがまち学習講座))
- あらかじめ記入内容を紙媒体等でご作成の上でのご入力をお勧めいたします。
- 質問フォームから問い合わせも可能です。

第3回の獲得目標は…

- **地域カルテ**を4シートで完成！
 - ① わがまち「自慢」「課題」マップ
 - ② エリア版ダッシュボード1：共通項目
 - ③ エリア版ダッシュボード2：独自項目
 - ④ 未来ビジョンと実現へのアイデア

地域カルテづくりとは…

- 地域づくりをクルマの運転にたとえると…
 - ① ドライバーは地域の市民の皆さん
 - ② 目的地（＝未来ビジョン）はどこを目指すのか、皆さんで話し合って決める
 - ③ 正しいルート？燃料は？スピードは？は、フロントパネルのカーナビや計器（＝ダッシュボード）でチェック！

シート1 マップづくり

シート1 わがまち「自慢」「困りごと」マップを完成させよう

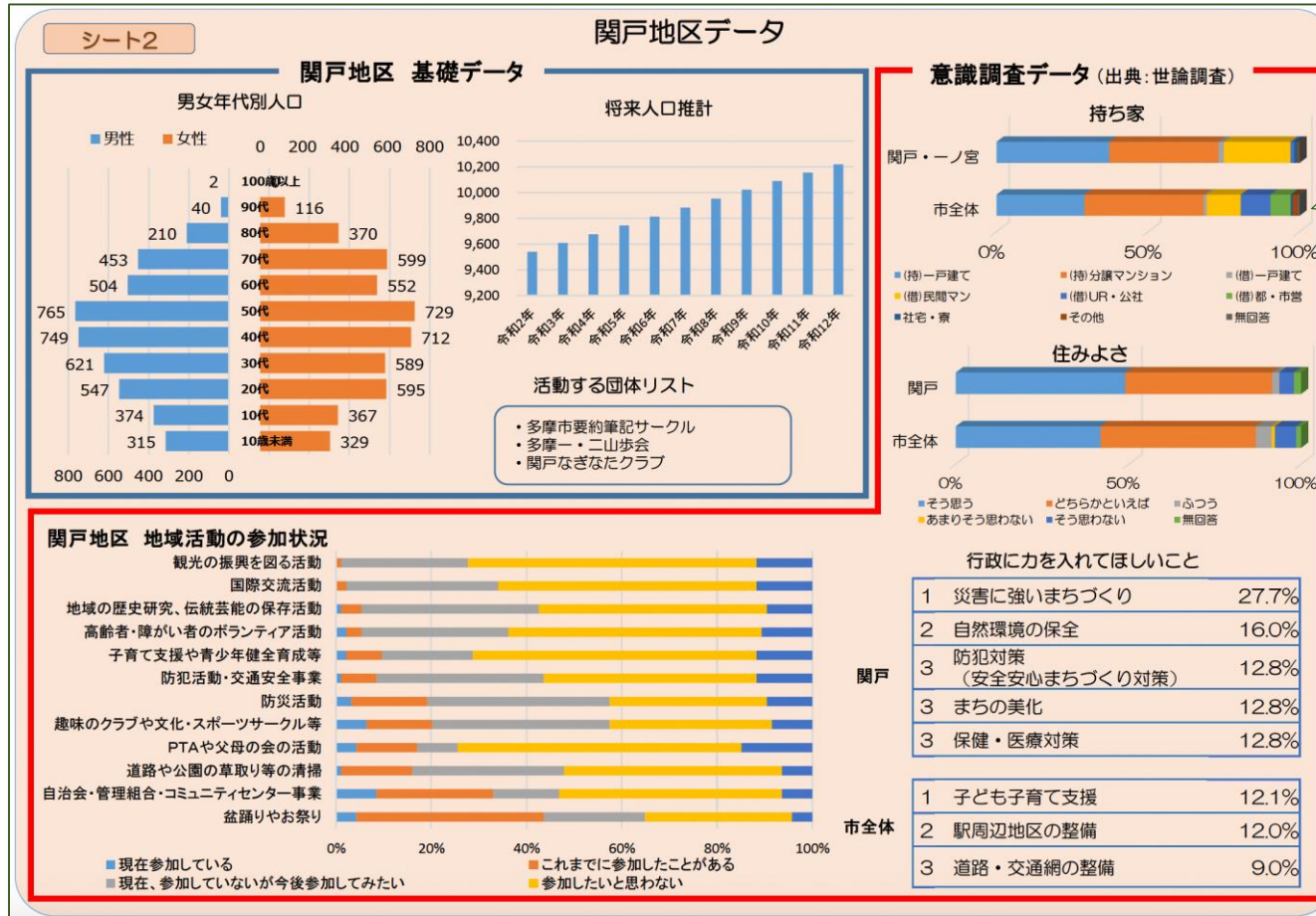


地域の「自慢」「困りごと」
を考えてみましょう！

このままだとどうなる？

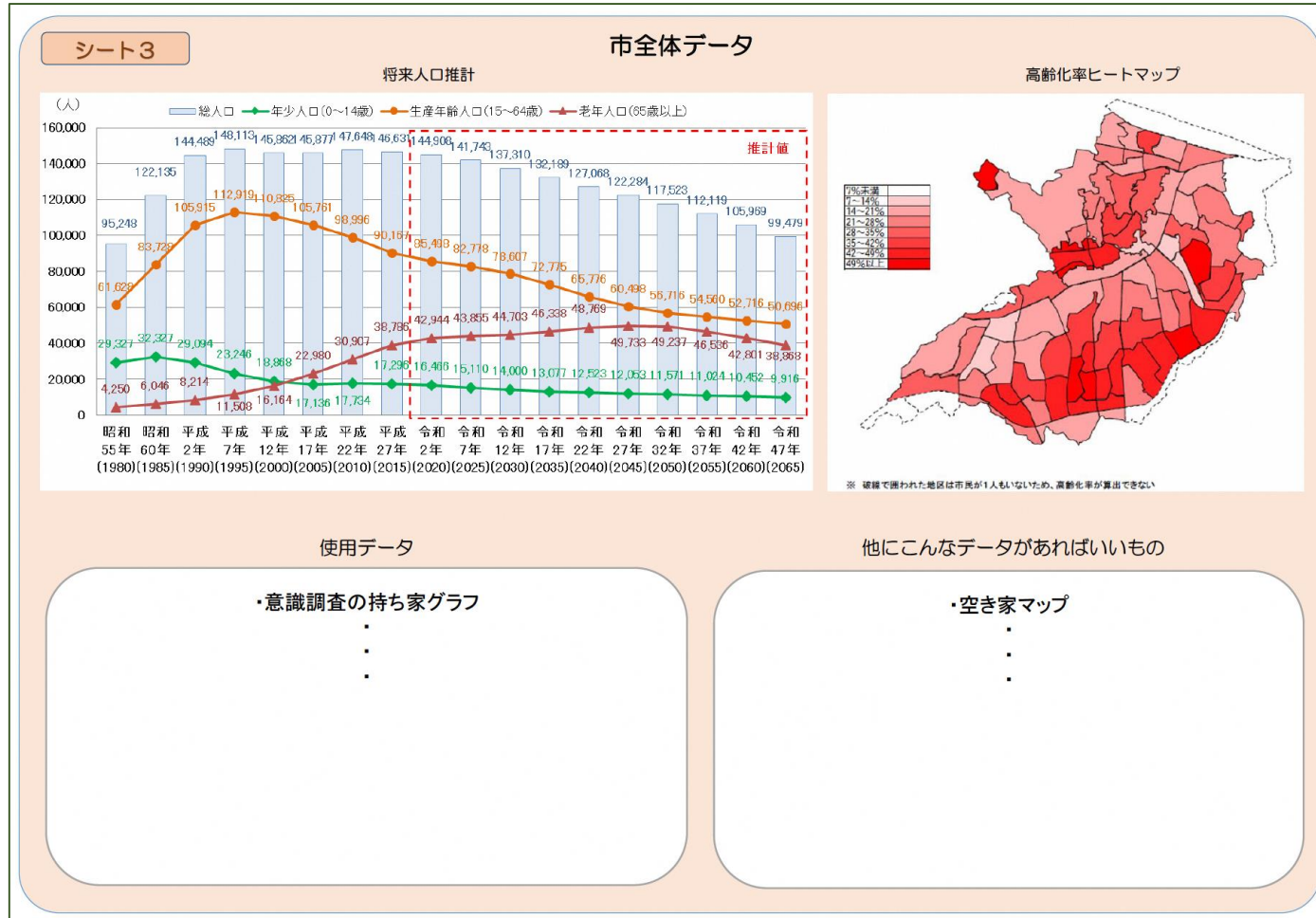
このまま進むと地域はど
うなるか、
また、地域の理想の姿は
どういうものか
考えてみましょう

シート2 ダッシュボード 共通項目



地域カルテを作るときには、色々なデータが必要になります。どのようなデータが必要か考えてみましょう！

シート3 ダッシュボード 独自項目



シート4の「未来ビジョン」を考えるために必要なデータはどのようなものか、考えてみましょう！

シート4 未来ビジョンを語ろう！

お住いの地域を
どんなまちにし
たいか、スロー
ガン（目標）を
考えてみましょ
う！

一緒に取り組む仲
間づくりが鍵！
多様な主体に
得意なことを活か
して協力してもら
いましょう！

シート4：逆算で考えよう！未来ビジョンを実現するには今何をすればいいのか

未来ビジョン

※「自慢」できるものを作りたい、「困りごと」を解消したいなど、未来のあって欲しい姿を目指した目標を立ててみよう！（スローガン（標語）風に！）

未来プロジェクト～未来ビジョンを実現するためのプロジェクト～

※「未来ビジョン」を実現するための具体的な取り組みとして、どのようなプロジェクトが行えばよいか考えてみよう！

どんな人たち・グループとどのように協力すればよりよく実現できるか

※「未来プロジェクト」を実行するために協力してもらいたい仲間（人、グループなど）と、どのように協力してもらいたいのか考えてみよう！

2030年には、こんな成果が！

※2030年までに、どのような「わがまち」の姿が期待できるか考えてみよう！
「未来ビジョン」実現に必要なもので足りないものはないか、確認してみよう！

地域でどのよう
なことができる
か考えてみま
しょう！

明るい未来をイ
メージし、ア
ピールできれば
仲間も集まる！

参考

- これまでのエリアミーティングの様子
- 「（仮称）地域委員会構想」について

1 プログラム

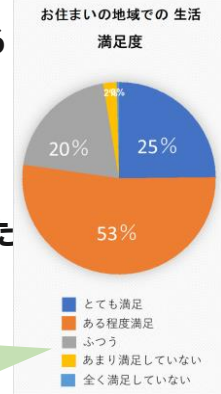
20代~70代の幅広い方が参加

- エリア居住参加者数：38名
- (1) アンケート集計結果報告 (中央大学国際経営学部 中村准教授)
- (2) 「私の暮らしの中に見つける安全と快適のアイデア
~地域とつながっていくクリエイティブ防災」
【講師】 **松本 祐香** 氏 (東京大学大学院教育学研究科
学校教育高度化・効果検証センター 協力研究員・防災士)
- ① 講義
- ② ワークショップ「いざというときに気がかりなこと」
- (3) 今後の予定について (多摩市企画課)

2 アンケート集計結果報告

538名から回答

- 中央大学中村先生から、東寺方小学区にお住まいの方へ無作為抽出で事前送付したアンケートの集計結果 (速報) について説明がありました
- ・就業している方が72%であり多忙な方が多い
- ・災害時など身近に声をかけあえるご近所づきあいがある方は54%であるものの、46%の方がなしと回答
- ・地域活動に関心がある方は50%だが、現在参画しているのは10%である。
- ・住民同士でつながる場に参加したい方は26%であり参加しない・できない方の45%が時間がないためだった



<参加者の声>

・80%近くが生活に満足とのアンケート結果は素晴らしいが、より一層増加するよう行政と一体になって進めたい

3 ワークショップ

コロナ下での実施のため、ふせんを貼る簡易手段で意見を共有しました。

- 松本講師から、非常時だけでなく日常にも役立つ (オールパーパスな) **防災** についてお話がありました。
- 「いざというときに気がかりなこと」について、①「発災前」、②「発災直後」、③「発災後」の3つのタイムラインに分けて、ふせんへ書き出し
- 書いたふせんを模造紙へ貼ってまとめ、グループごとに発表いただきました

<グループ意見まとめ>



<ワークショップの様子>



4 参加された方の感想・今後の流れ

【感想】 エリアの中の同エリアでグループミーティングもいいと思う、長い間職場中心の生活だったので自分の住む地域の現状がわかってよかった、もっと若い世代の参加が進んだり世代ごとのグループワークができると面白い、全体像を先に示してほしかった

今後のイベント企画・運営に活かします！

【今後の流れ】

- 第2回エリアミーティング (11/29)
- わがまち学習講座 (12/12、1/17)
- 第3回エリアミーティング (1月末~2月初旬頃)

地域のデータを集めてまちのビジョンを一緒に考える場をつくれます！



【お問合せ】

多摩市企画政策部企画課 TEL 042-338-6813 (直通)

市HP QRコード⇒

公式ホームページ <http://www.city.tama.lg.jp/0000011459.html>



1 プログラム

- エリア居住参加者数：18名

(1) 市の現状・（仮称）地域委員会構想について
（市民自治推進担当部長）

(2) 「まちづくりシミュレーションゲーム」

① ゲーム体験

2030年に向けた予算編成体験

② 振り返り・発表

ゲームで感じたこと等

(3) 今後の予定について



体育館で感染対策をして実践

2 ゲーム体験の様子

会場は寒くとも
熱い意見交換

● 各グループがそれぞれ仮想のまち「たまみらい市」になり、参加者はその市の部長（総務部長、子ども教育部長、健幸部長、くらし経済部長、都市づくり部長）の役割を体験します。

- ・ 社会保障費の増加に対応するため、既存事業を廃止するか借金するか
- ・ 新規事業を実施するには、既存事業を廃止するか借金するか
- ・ 廃止すると言っても、、不利益を被る市民にどう対応するか
- ・ 議会に説明?? 時間が足りない!

<参加者の声>

- ・ ものごとを決めるのは難しい。
- ・ 縦割りにならず部門を越えた話し合い、連携が重要。
- ・ 投資的施策は必要だが、成否の判断が難しい。
- ・ 目指す姿の共有がなされていたら



3 振り返り・発表

- ゲーム体験を通して

感じたこと・気づいたこと・学んだこと・大事にしたいこと等を
個人ワーク3分→グループ内共有5分→全体発表（各グループ1分）
で参加者全体に共有しました。

- ゲームの面白さ・難しさをはじめ、多摩市や行政への気づき、将来のまちづくりについて対話の大切さやビジョンを持つことの重要性などが発表されました。

<発表の様子>



各グループで気づいたこと・感じたことを共有し、総務部長役の参加者が全体に発表しました

4 参加された方の感想・今後の流れ

【感想】 地域の未来を考えることは本当に楽しい。

いろいろな方の意見をきくことで、視野や意識が広がり、楽しかった。

普段、接点のない地域の方との“対話”は、学びと気づきが多かった。

市の課題を自分事化することができたのが大変有意義。

地域課題の解決のための具体的なアクションが大切だと痛感。

自分に今できること考え行動します。

このゲームでの議論が市政に生かされるようにするとさらに良いと思います。

寒すぎて体にこたえました。

満足度100%
継続参加意向87%

【今後の流れ】

- わがまち学習講座（12/12、1/17）

- 第3回エリアミーティング（2/6）

実際に地域カルテづくりを通して、地域のことを深堀します。

【お問合せ】

多摩市企画政策部企画課 TEL 042-338-6813（直通）

市HP QRコード⇒

公式ホームページ <http://www.city.tama.lg.jp/0000011459.html>



多摩市「地域委員会」構想①

「（仮称）地域委員会構想」について 1 経緯・国の施策との関連

- 第三期自治推進委員会「コミュニティ自治推進に向けた検討報告書」（H23.6）
- 第五次多摩市総合計画
第1期基本計画（H23～）「（仮称）地域委員会構想」の推進
第2期基本計画（H27～）「健幸都市（スマートウェルネスシティ）・多摩の創造」
【3つの取組の方向性のうちの1つ】
第3期基本計画（R元～）「健幸まちづくりのさらなる推進」【計画の基盤となる考え方】
「市民・地域と行政との新たな協働のしくみづくり」
【3つの重点課題のうちの1つ】
- 「地域共生社会」の実現（厚生労働省）
制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が、「我が事」として参画し、人と人、人と資源が、世代や分野を超えて「丸ごと」につながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会
- 「地域運営組織」の形成（総務省）
地域の生活や暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組みを持続的に実践する組織



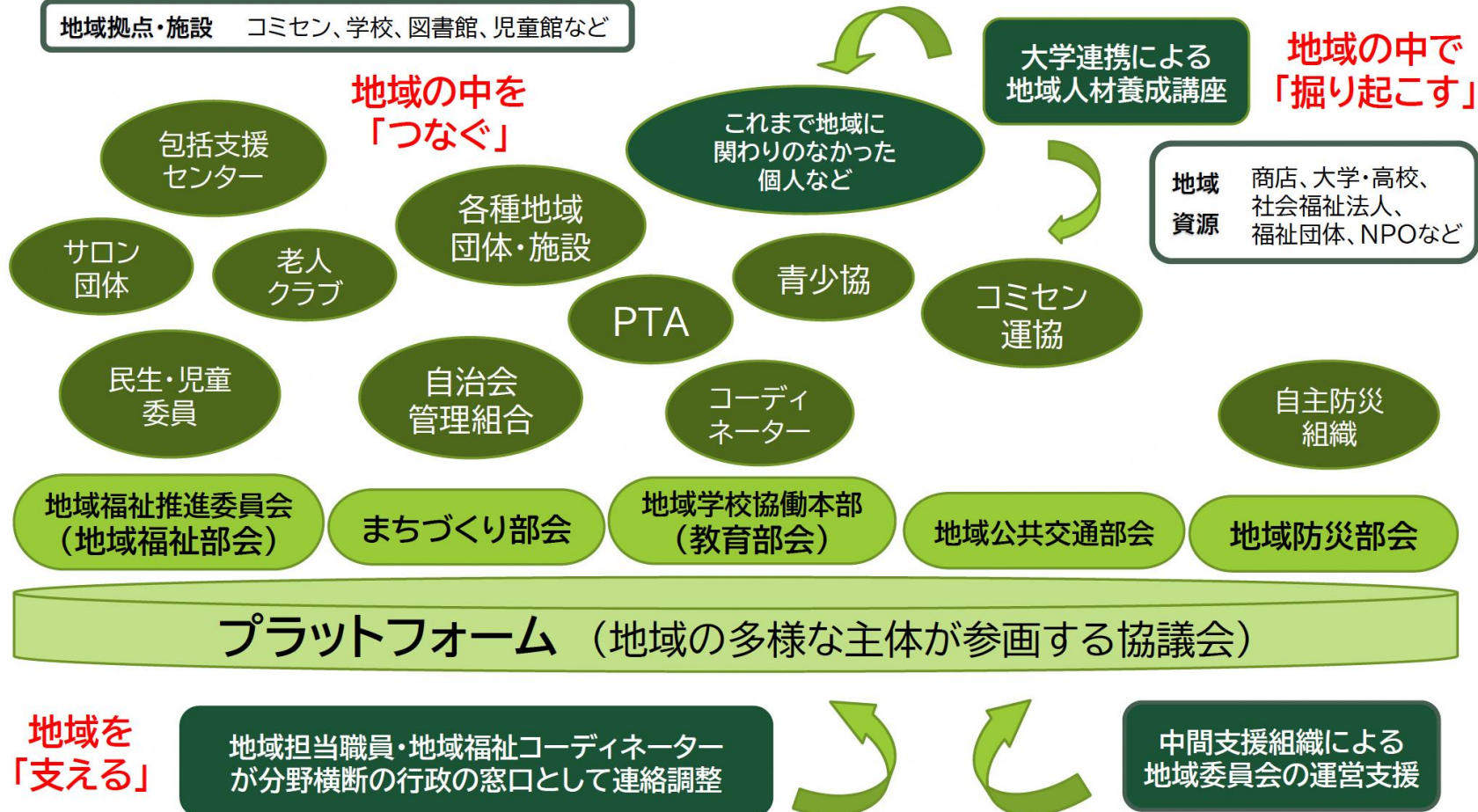
「（仮称）地域委員会構想」の実現に向けた取組みに本格的に着手

多摩市「地域委員会」構想②

「（仮称）地域委員会構想」について

10 将来イメージ

地域拠点・施設 コミセン、学校、図書館、児童館など



多摩市「地域委員会」構想③

想定モデルエリア

既存地区

一小学区
(多摩中の大半)

東寺方小学区
(多摩中・和田中
の一部)

二小学区
(和田中の大半)

既存・NT 混合地区

聖ヶ丘中学区
(連光寺小・聖ヶ丘小)

東愛宕中学区
(三小・愛和小)

NT地区

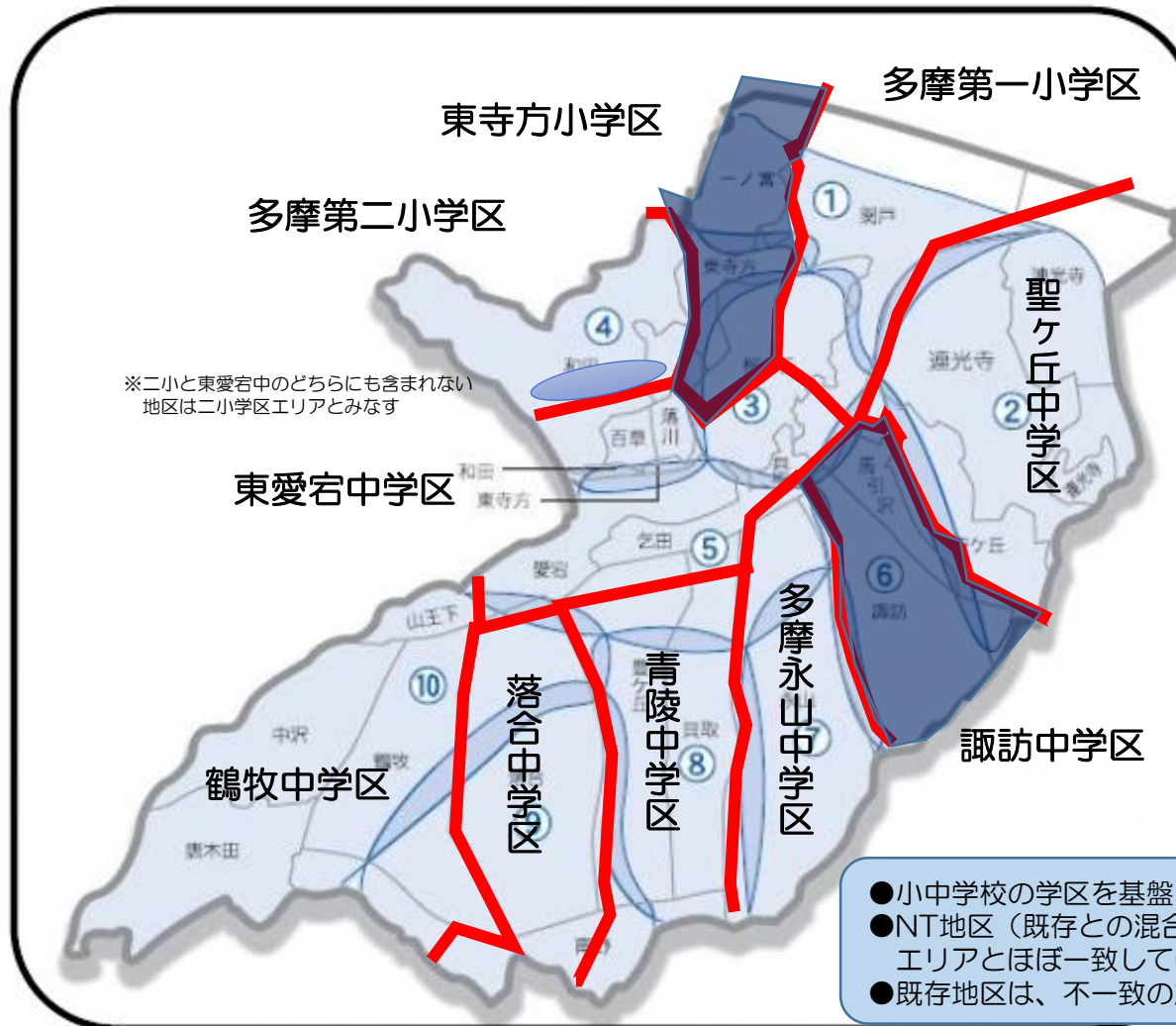
諏訪中学区
(北諏訪小・諏訪
小)

多摩永山中学区
(永山小・瓜生小)

青陵中学区
(豊ヶ丘小・貝取
小)

落合中学区
(東落小・西落小)

鶴牧中学区
(南鶴小・大松台
小)



- 小中学校の学区を基盤にエリアを設定
- NT地区（既存との混合地区）は、コミュニティエリアとほぼ一致しているために中学校の学区
- 既存地区は、不一致のため小学校の学区

第7期自治推進委員会で検討中

みんなが笑顔 いのちがわうまち 多摩
Tama City
多摩市

携帯サイト よくある質問 (FAQ) サイ
文字サイズ 標準 拡大 背景色変更 白 黒 青
ENHANCED BY Google 検索 Attention

暮らし・手続き 子育て・教育 市政情報 施設案内 観光
生活環境 健康・福祉

トップ > 市政情報 > 審議会等 > 行財政運営 > 多摩市自治推進委員会

多摩市自治推進委員会公開情報 (第七期)

[2021年2月22日] ID:9036 ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます f シェア ツイート

平成16年8月1日に多摩市のまちづくりの基本的なルールである「多摩市自治基本条例」がスタートしました。これからのまちづくりを進めていくための最も基本的な考え方と、それを実現するための具体的な取り組みを定めた条例であり、永続的な市民参画・協働によるまちづくりのルールとして確立したものです。この条例の推進役として「自治推進委員会」を設置し、具体的な提言を行うため審議を行います。地方自治に識見を有する方2人、市内全域を活動範囲としている団体の推薦する方2人、公募市民2人の6人で構成されています。

委員会の基本情報はこちらをご覧ください。

開催状況

- [第1回多摩市自治推進委員会 令和元年11月11日 \(月曜日\)](#)
- [第2回多摩市自治推進委員会 令和2年1月27日 \(月曜日\)](#)
- [第3回多摩市自治推進委員会 令和2年3月20日 \(祝日\)](#)
- [第4回多摩市自治推進委員会 令和2年7月2日 \(木曜日\)](#)
- [第5回多摩市自治推進委員会 令和2年8月20日 \(木曜日\)](#)
- [第6回多摩市自治推進委員会 令和2年10月22日 \(木曜日\)](#)
- [第7回多摩市自治推進委員会 令和2年12月14日 \(月曜日\)](#)

「www.city.tama.lg.jp/category/3-0-0-0-0.html」を新規タブで開く 令和13年2月18日 (木曜日)

多摩市自治基本条例第30条に基づく市の附属機関です



▲こちらから確認できます



くらし・たのし・たまし



2021年多摩市市制施行50周年